

回覧

11月9日～15日

秋季全国火災予防運動

羽島市長賞



中央小学校3年 三輪誠仁さん 作品



竹鼻中学校2年 岡田寧彩さん 作品

【火災予防のポイント】

- たき火は行わない
- 寝たばこをしない、灰皿には水を入れる、たばこの投げ捨てをしない
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- 住宅用火災警報器を点検し、10年を目安に交換する
- こんろ使用中にその場を離れるときは、必ず火を消す
- ガソリン・軽油・灯油の取り扱いに注意する
- コンセントは、ほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く



火災予防にご協力お願いいたします。

裏面あり

誰でも簡単！住宅用火災警報器の点検・交換

●点検は定期的に

本体のボタンを押すか、付属の紐を引きます。
正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
少なくとも年に2回は点検しましょう。
(春・秋火災予防運動の時期に実施することを推奨)



反応しない場合は、すぐに**交換**しましょう！

●交換の目安は10年

設置から10年以上の場合も**交換**しましょう！

設置年数は、設置の時に記入した設置年月や交換期限で確認できます。
記載がない場合は、製造年でおおよその時期がわかります。

新しく交換する際は、生活に適した機器を！

火災などの危険に対して、より安心できるさまざまな機能を兼ね備えた機器の設置を検討しましょう。

連動型住宅用火災警報器

作動した警報器から他の部屋の警報器へ連動させて警報を行い、火災発生にいち早く気づけます。

部屋数の多い住宅にお勧めです。



CO警報器複合型住宅用火災警報器

火災だけでなく、家庭内で発生する一酸化炭素を検知します。

石油ストーブなどの燃焼機器を使用する方にお勧めです。



屋外警報装置

インターホンなどを通じて火災発生を家の外にも知らせます。通行人等の通報や、初期消火等の協力が期待できます。

一人暮らしや、お年寄りのみの世帯にお勧めです。



補助警報装置

火災を感知した際に、警報音以外の光や振動などで火災の発生をお知らせする付属機器です。

お年寄りや目・耳の不自由な方にお勧めです。

